

## 7. 試験研究事項

### 柵付き折畳みベッド部分の軽量化

研究員 菊池 元

#### 1. 目的

生活水準の高度化にともない、生活用品は多様化されつつあるとき、整理、収納についての、解決点が、問題化される。生活様式に合わせて、自由に住空間を構成する折畳み式ベッドの、軽量化の試作研究を行なって、新製品の開発をはかった。

#### 2. 概要

折畳み式機構においては、緊結部分は充分なる強度と、機構の単純化、開閉の容易さが要求されるので、練芯材加工において、軽い材料を使用し、出来るだけ材料の節約、軽量単純化を考慮して、ベッド部分は、片面フラッシュ加工を施し、使用材料はすべて、3%合板を使用した。床面部分のみ強度面から

5%合板を使用して切り抜きによる、空気穴を設けることにより、クッション内部の、湿気の除去、折畳み開閉時の空気圧の除去、軽量化することを考慮した。

#### 3. 成果

この研究の目的は、将来性ある、コンパクト化した、ベッドの規格原型として研究したものである。生活形態の多様化、合理化から今後コンパクト化された家具の市場性は、大いに期待出来ると思う。この試作により、縦型、横型形式、スライド形式（折畳式併用）等の進展が考えられるので、機能面（防湿、軽量、機構）、デザイン面（形態、色彩）の改善により、斬新な市場性ある製品が開発出来ると思う。

### 総合家具のデザイン改善研究（継続）

研究員 鮫島 正登美

#### 1. 目的

一般家具業者のためのインテリアデザインの改善、及び未利用県産材の、高度利用開発設計研究を行なう。

- 1・1 屋久杉製品加工業者のための設計
- 1・2 箱物製品加工業者のための設計
- 1・3 脚物製品加工業者のための設計
- 1・4 設計依頼業者のための物
- 1・5 県産未利用材の高度な家具用材としての利用設計研究

#### 2. 概要

上記の目的にそい設計を行なったが（約80点）いづれも県下の一般家具加工業者が容易に製作出来得るよう、業者の加工能力を生かして、現在加工している製品の品質向上、高級化を図るもので、機能、用途、形態、構造等はもちろん、それぞれの業者の獨創性あるものとする。

県産未利用材は材料の特性にあった物を、現在の生活形態等をも考慮し、また加工工作